

### 市税1万円の使いみち

#### 2,770円 民生費

高齢者・身体障害者・児童の福祉増進、生活保護などに



#### 1,240円 土木費

道路・公園などの整備管理などに



#### 1,230円 教育費

学校の管理・運営、校舎の維持管理、図書館などの運営に



#### 1,290円 総務費

市役所の管理事務費、市民会館・コミセンの運営費、選挙などに



#### 1,130円 衛生費

ごみの収集処理などに



#### 1,380円 公債費

長期の借入金である市債の返済にあてられます

#### 480円 消防費

消防業務、救急業務などに



#### 480円 その他

議会費、商工費、農林水産業費、諸支出金など

### 歳入 市税収入0.3%の減

一般会計の5割以上を占める市税収入は、73億3,170万円で、平成9年度に比べ0.3%減少しています。これは、住民税減税の実施や法人税率の引き下げなどにより、市民税の減収が見込まれるためです。

平年度化された地方消費税交付金、地方交付税、国庫支出金は増加しています。一方、市債は、市財政を健全し健全化を図るため、発行額を押しさえ、59.6%減の3億5百万円となりました。

繰入金は、財政調整基金4億5千8百万円を取り崩して繰り入れています。

### 緑やさしく 安心のまち

地球にやさしい緑を都市に育み、道路をはじめとした市民の身近な都市基盤の整備を進めるとともに、暮らしの周辺環境を高め、安全で安心な誰もが住み続けたいと願う都市を築きます。

環境にやさしいまちづくり事業では、ごみ減量と資源の有効利用を図るため、リサイクル「ひまわり市」を年2回開催します。災害時の避難場所等の確保として、防災協力農地を設定します。

また、日常実践されている環境保全への取り組みを「私のすすめるエコライフ」として募集し、優れた内容を紹介します。

さらに、ゴミの減量化へ向け、広報パンフレットの作成や「エコライフ向日」(写真)の発行、生ごみ堆肥化容器購入助成やフロンガスの回収を推進します。



### 人のぬくもりが 感じられるまち



健康をまちづくりの重要な柱に据え、市民自らが健康で生きがいを持って、安心して暮らせるまちを築きます。また、市民の健康で元気な活力をまちの活力につなげていきます。

健康都市づくり推進事業では、健康都市づくり市民会議の設置、健康づくりリーダーの養成や、市民の健康づくりを支援するため、ウォーキングコース案内看板の設置や健康ウォーク賞を設けます。

開館20周年を迎える老人福祉センターでは、記念事業や浴場殺菌ろ過装置の整備などリフレッシュ工事を行います。

成人病予防対策では、基本健康診査に、眼底検査を追加したほか、体力に応じた運動プログラムを提供できる健康運動指導士を養成します。

まちづくりの基本となる平成10年度予算が決まりました。  
施策の柱には、○緑やさしく安心のまち  
○人のぬくもりが感じられるまち ○新しい風  
に活気あふれるまち ○明るい笑い声と歓声が  
聞こえるまち ○人と人とのふれあいを大切に  
するまちの五項目を据えた予算となっています。  
(一般会計の主な事業は2、5面に掲載)

# 人まち健康 みんなで明日へ

## 平成10年度 当初予算決まる

### 新しい風に 活気あふれるまち



本市産業を活性化させ、個性的で魅力ある活気溢れるまちを築いていきます。

都市近郊農業の振興と発展のため、若い農業担い手を育成する「いきいき農業塾」の開催や、ヒマワリやコスモスの観賞園(写真)を開設します。また、市民に都市農業への理解を深めていただき、合わせて健康増進にも役立つ、「市民健康農園」や「市民いも掘り園」を開設します。

商工振興では、法人化に向けて準備が進む向日市商工会に対して助成を行うほか、厳しい局面にある中小企業の経営安定と振興を図るため、貸付限度額の拡大にあわせて、引き続き低利率での融資を行います。新たに、関係機関と合同で、融資等の相談会を開催します。

### 明るい笑い声と 歓声が聞こえるまち

子供からお年寄りまで、すべての市民がその生涯を通じて学習機会を得、一人ひとりが自己実現を図ることができる環境を築き、また、スポーツを通して、明るい笑い声と歓声が聞こえてくる健全なまちを築いていきます。

いじめ問題等に対処するため、スクールホットラインの活用と、不登校の児童生徒を対象に、天文館に適応指導教室を開設し不登校の解消に努めます。

また、児童数の減少に伴い、小学校に空き教室が生じている現状と高齢社会の需要に対応するため、第4向陽小学校(写真)の余裕教室を活用して、お年寄りと子供の交流が図れる市内で2番目の老人福祉センターの整備を進めます。



### 人と人とのふれあいを 大切にすまち

人と人とのふれあいや、市民の自主的な活動や交流が、まちの活性化にとって何よりも大切です。

市内の小学生が健康づくりや福祉の現場取材する夏休み子供広報隊員を設置します。

また、米国サラトガ市と中国杭州市との友好親善と市民間の交流を深めるため、サラトガ交換学生事業や杭州市友好西湖マラソン(写真)への市民の参加を促進するとともに、平和施策や女性政策を積極的に推進する一方、情報公開制度の整備に向け、有識者等で構成する懇話会を設置します。さらには、市民から要望の高い市民会館のエレベーター設置についても調査を行うなど、多様な市民ニーズに応えてまいります。

